令和７年度ヨーロッパザラボヤ等付着情報（第６報）

令和8年1月7日

発　　行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

・ヨーロッパザラボヤの付着数は前回調査（１１月）より減少しました。
・ユウレイボヤの付着数は前回調査（１１月）より増加しました。
・フジツボ類の付着数は前回調査（１１月）より減少しました。
・フジツボ類の幼生は採集されませんでした。

＜調査方法＞

１　調査日：令和7年12月22日（前回調査：11月26日）
付着器投入期間：11月26日～12月22日（前回調査：10月28日～11月26日）
プランクトンネット曳網日：12月22日（前回調査：11月26日）

２　調査場所
山田湾 大島南端から西微南方向480m付近にある一区第136号に設置した標識灯付近

３　調査方法

○　ザラボヤ等付着状況調査
ホタテガイ貝殻を使用した付着器を水深5m、10m、15mに3枚ずつ取り付けたロープを垂下し、1ヶ月ごとのヨーロッパザラボヤ（1mm以上）、ユウレイボヤ（1mm以上）の付着数を計数。付着器9枚（3水深×3枚）に付着した数を平均したものを平均付着数とした。

○　フジツボ類発生状況等調査
・ザラボヤ等付着状況調査時にフジツボ類の付着数を計数。
・北原式プランクトンネットを鉛直に20m曳網し、採集物の中からフジツボ類の幼生を計数。

＜調査結果＞

○　ザラボヤ等付着状況調査
12月22日の水深5m、10m、15m層の水温は、各層とも11.8℃で（別紙　図1）、透明度は13m（前回12m）でした。
ヨーロッパザラボヤの付着器への平均付着数は2.8個体/枚で、前回調査（14.1個体/枚）より減少しました（別紙表１及び図２）。
ユウレイボヤの付着器への平均付着数は29.8個体/枚で、前回調査（13.3個体/枚）より増加しました（別紙　図２）。

○　フジツボ類発生状況等調査
フジツボ類の付着器への平均付着数は0.0個体/枚で、前回調査（14.9個体/枚）より減少しました（別紙　図３）。
フジツボ類幼生は0.0個体/m^3で、前回調査（2.5個体/m^3）より減少しました（別紙　図３）。

お問合せ先
担当　増養殖部　田中

別紙

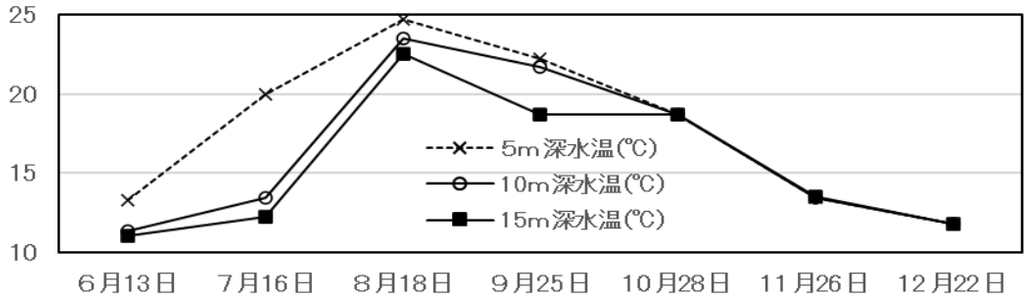

図1　5、10、15mの水温

表1　ヨーロッパザラボヤの平均付着数

	7月16日	8月18日	9月25日	10月28日	11月26日	12月22日
5m	11.3 個体/枚	0.3 個体/枚	2.0 個体/枚	10.7 個体/枚	29.0 個体/枚	2.7 個体/枚
10m	4.7 個体/枚	0.0 個体/枚	1.0 個体/枚	9.3 個体/枚	12.3 個体/枚	2.3 個体/枚
15m	38.3 個体/枚	8.3 個体/枚	0.0 個体/枚	0.3 個体/枚	1.0 個体/枚	3.3 個体/枚
平均	18.1 個体/枚	2.9 個体/枚	1.0 個体/枚	6.8 個体/枚	14.1 個体/枚	2.8 個体/枚

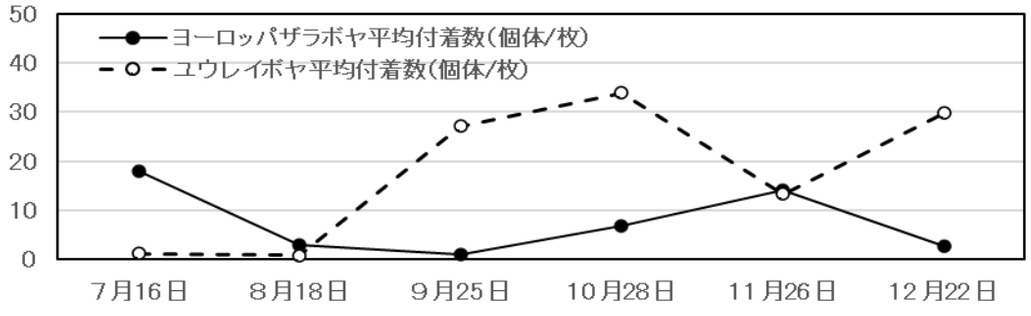

図2　ヨーロッパザラボヤ及びユウレイボヤの平均付着数

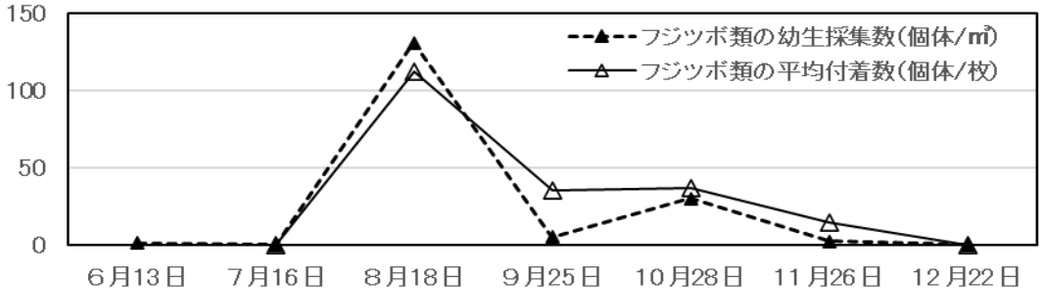

図3　フジツボ類の幼生採集数及び平均付着数